

医療介護連携推進会議開催状況報告書

事業所名 (ヘルプーステーションたにやま 24 時間センター)

開催日時等 令和 7 年 10 月 10 日 (金) 14 時 00 分～15 時 00 分		
参加者		主な議題
利用者	0 名	議題内容 議題 1. 2025 年 4 月～2025 年 9 月の活動状況報告 議題 2. 今後の体制整備について
利用者家族	0 名	
市職員	1 名	
医療関係者	1 名	
地域住民代表者等	1 名	
事業者	4 名	
主な要望・助言等		今後の課題
・ 2025 年 4 月～9 月は、永眠や入所により 2 名が利用終了となりましたが、7 名の新規利用者を受け入れ、利用者数 14～15 名で推移しました。定期訪問は平均 724 件、随時訪問は 5 月に 1 件のみでした。 ・ 自宅退院後、定期巡回を開始された利用者の事例では、褥瘡の改善や栄養状態の向上に取り組み、環境整備や家族支援を行いました。娘様の介護負担軽減を図る一方で、介護疲れへの配慮も必要とされることが確認されました。 ・ 訪問介護事業所とのシフト一体化により、訪問の空き状況が把握しやすくなり、時間外対応の減少と新規受け入れの増加につながりました。断らない体制づくりを引き続き推進します。 ・ 意見交換では、「大丈夫」と言われても支援が必要な場合があることを共有し、ご本人・ご家族双方に寄り添う支援の重要性を再確認しました。ピアカウンセリングや友人交流など多様な関わりの機会づくりの必要性も挙げられました。 ・ 今後の課題としては、オペレーターの退職が続いているため、ICT を活用した待機体制など、新たな運営方法の検討が進められています。また、地域 3 社合同で初任者研修を開講し、介護人材の育成を目指していきます。		・ ICT を活用した待機体制の整備を進めます。 ・ 地域連携や相談体制の充実を図り、継続的な支援体制を整備します。 ・ 人材育成や地域研修の周知し、介護人材確保に努めます。 ・ 老々介護や生活援助の制限など、地域課題への継続的な意見交換を行い、質向上を目指します。